

IBM z17

最も重要なシーンで
ハイブリッドクラウドを高度なAIで実現

■ ハイライト

AIを活用したイノベーション
でビジネスの成長を促進

業務効率のための
自動化と変革を実現

最もレジリエントなシステム
で重要なデータを保護

AI+の時代の到来により、新たな機会や競争上の優位性、成長の可能性が広がる一方で、ITインフラストラクチャーにはこれまで以上の対応力が求められています。IBM® z17により、AIを活用して成長を加速させながら、重要なデータとアプリケーションのセキュリティを確保し、最高品質のサービスを提供し続けることが可能になります。運用効率を高め、IT投資と人材から最大の価値を引き出し、デジタル・トランスフォーメーションを加速することができます。

IBM z17は、ハイブリッドクラウドを支える重要な基盤を提供し、耐量子暗号やAI搭載セキュリティといったイノベーションを可能にすることでリスクを軽減します。また、マルチモデルのAIによってより高い精度と正確性を提供します。ミッションクリティカルなトランザクション処理やデータ集約型のワークロードを最適化するため、チップからスタック全体に至るまで設計されています。IBM z17は、AIの力を最も重要な領域で引き出し、効率化の向上、イノベーションの促進、そしてより良いビジネス成果の実現を可能にします。





↑ 4,500億

1ミリ秒の応答時間で処理される1日あたりの推論回数¹

↑ 99.9999999%
の可用性

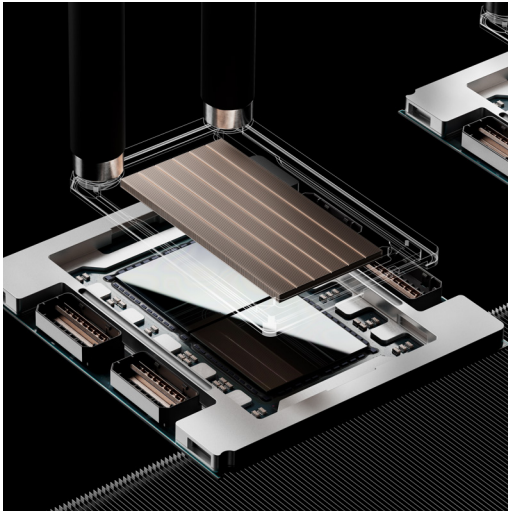
年間315ミリ秒のダウンタイムに相当²

AIを活用したイノベーションでビジネスの成長を促進

IBM z17は業界をリードするAI推論により、これまで以上の高精度を可能にします。IBM Telum IIプロセッサとIBM Spyre Acceleratorカードが提供するオンチップおよびPCIe接続型のAI加速によって、高速かつ低遅延な推論処理が可能となり、生成AIや大規模言語モデル（LLM）を企業レベルのスピードとスケールに拡張します。トランザクションAIのさらなる価値を引き出すことが可能になり、複数のモデルをデプロイすることで精度を高め、誤検出を減らし、不正アクセス検知、マネーロンダリング対策、異常検知を強化します。トランザクション処理中のワークロードにおいて、ますます大規模かつ複雑になるモデルの力を活用することで、データやモデルの知的財産を保護しながら、より良い成果を得ることができます。金融に特化したアプリケーション、機密文書の要約、情報検索およびデータ抽出などの、高いセキュリティー、コンプライアンス準拠、保護されたAI運用を必要とするユースケースにおいては、この信頼性の高いプラットフォームであるIBM Zを信頼してご利用いただけます。データやモデルの知的財産をしっかりと保護できます。

業務効率のための自動化と変革を実現

IBM z17をIBM Spyre Acceleratorと組み合わせることで、AIアシスタントとAIエージェントのさらなる生産性の向上が可能になります。これらのシステムは、あらゆるタイプのユーザーのメインフレーム体験を根本から変えており、生産性と効率性を高めるとともに、スキルに関する懸念を軽減しています。メインフレームの技術者は、IBM Spyre Acceleratorを使用して、IBM z17上のオンプレミスで稼働するAIアシスタントやエージェント型ワークフローにアクセスできるようになります。これらの生成AIソリューションは、より深い理解と確信を持ったアクションを導き、新たな担当者の初期学習時間を削減します。アプリケーション開発者は、生成AIとチャットを活用することで、アプリケーションの理解、リファクタリング、最適化、作成、テスト、デプロイをより簡単に行えるようになり、開発サイクル全体での生産性を高め、スピードと柔軟性を向上させることができます。IT運用における生成AIアシスタントとエージェントによる高度なAIインサイトは、開発者がインシデントを迅速に検知し、根本原因を特定する手助けをします。これにより、解決時間を数時間から数分に短縮し、ビジネスへの影響を最小限に抑えることができます。



最もレジリエントなシステムで重要なデータを保護

IBM z17は、業界最高水準であるエイトナイン（99.999999%）の可用性²で、より高いサイバー・レジリエンスを実現するよう設計されています。導入を簡素化し、AIを活用してより優れた洞察を提供することで、セキュリティー管理の改善を支援します。AI搭載の機能により、内部および外部の潜在的な脅威を検知・軽減し、データ・アクセスの異常を迅速に特定することでビジネス・リスクを低減すると同時に、新たなマルウェア対策に関する規制要件への対応も支援します。AIは、最も機密性の高いデータを自動的に特定して保護するためにも活用されており、セキュリティー・リスクの最小化に貢献します。さらに、IBM z17はNIST標準化アルゴリズムを組み込み、クリプト・イベントリーの作成を自動化するツールを提供することで、ポスト量子暗号化への移行を進めることを可能にします。

IBM z17における主要な新しいイノベーション

IBM Telum IIプロセッサ



オンチップのコプロセッサによるAI加速

IBM Telum IIプロセッサは、オンチップのAIコプロセッサによって強化されたAI加速を統合しており、レイテンシーを低減し、トランザクション中の推論処理において卓越したパフォーマンスを発揮します。現在、変数の数が80億未満の小規模言語モデル（SLM）に対応しています。組織は、AIをビジネス・プロセスや既存のIBM Zアプリケーションに直接組み込むことで、これまでにない規模とスピードでビジネス成果を高め、厳しいSLAの応答時間にあらゆる接点で顧客価値を提供することができます。



I/O加速ユニット

Telum IIプロセッサ上にまったく新しいデータ処理ユニット（DPU）が設計されており、メインフレームにおけるネットワークおよびストレージの複雑な入出力（I/O）プロトコルを高速化します。DPUはシステム運用を簡素化し、主要コンポーネントの性能を向上させることができます。

IBM Spyre Accelerator

IBM Spyre Acceleratorカードは利用可能な場合、[Telum IIプロセッサ](#)を補完する形で、追加のAIの計算能力を提供します。このコンポーネントは、テキストなどの非構造化データを扱う生成AIのユースケースを支える計算能力を提供することで、IBM z17のAI機能を拡張し、スケーリングします。最大48基のSpyre Acceleratorをサポートするため、生成AIをスケーリングでき、卓越したパフォーマンスと厳格なセキュリティーやレジリエンスが求められるエンタープライズレベルのワークロードに対応できます。

AI搭載のセキュリティー

IBM z17は、AIを活用したセキュリティーの一步を踏み出しました。AIと自然言語処理（NLP）を活用して機密データと非機密データを判別するSensitive Data Tagging for IBM z/OSを活用することで、堅牢でありながら導入が容易なデータ識別ソリューションを持つことができます。もう一つのAI搭載セキュリティー機能であるIBM Threat Detection for z/OSは、定期的なスキャンを実行し、AIを活用して潜在的な脅威を特定することで、サイバー攻撃を早期に検知・緩和し、被害を抑える機会を提供します。これらの機能はどちらも、サイバーセキュリティー規制への対応を支援をします。

構成テーブル

IBM z17の概要	IBM z17 ME1
	この構成は汎用用途向けに設計されており、幅広いアプリケーションに適した性能、拡張性、セキュリティのバランスを提供します。
仕様	
エンジンの最大数	208
ドロワーの最大数	4
入出力ドロワーの最大数	12
フレームの数	4
ストレージ/スイッチとのコ ロケーションが可能	いいえ
頻度	5.5 GHz
Telumチップ	はい
最大メモリー	64 TB
サイズ	43、90、136、183、208
参考情報	
仕様書	マルチフレーム仕様
エネルギー効率	マルチフレームのカーボン・フットプリント
テクニカル・ガイド	マルチフレーム・ガイド
インタラクティブ・ツアー	マルチフレーム・ツアー

新しいIBM z17はAIを中核に据え、マルチモデルAIを大規模にサポートすると同時に、極めて重要なワークロードに対して、最高水準のパフォーマンス、レジリエンス、そしてセキュリティーを提供し続けます。IBM z17とAI技術はトランザクション処理とデータ活用を根本的に変革し、ビジネスにおける生産性と効率性のさらなる向上を実現します。IBM Zは、貴社のハイブリッドクラウドに欠かせない存在になり得ます。IBM Zをハイブリッドクラウドに統合することで、ワークロードは、IBM Zシステムのセキュリティー、レジリエンス、AI駆動型の洞察力を維持しながら、インフラストラクチャー・プラットフォーム間でシームレスなエクスペリエンスのメリットを得ることができます。IBM Zはまた、ハイブリッドクラウドを最適化する様々なソフトウェアを提供し、お客様が必要とするセキュリティー、レジリエンス、AI、アプリケーション・モダナイゼーションを実現します。

IBM z17の詳細については、IBMの担当者またはIBMビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、ibm.com/jp-ja/z17をご覧ください。

1. IBM z17では、クレジットカード不正アクセス検知ディープラーニング・モデルを使用して、1日あたり最大4,500億回の推論処理を応答時間1ミリ秒で実行できます。
免責事項：このパフォーマンスは、IBMのマシン・タイプ「9175」のシステム・ハードウェア上で行ったIBMの内部テストから推察されるものです。ベンチマークは、バッチ・サイズ160でIntegrated Accelerator for AIを活用するために、LSTMベースの合成クレジットカード不正アクセス検知モデルを使用し、1つのスレッドがローカルで推論処理を実行する形で実施されました。IBMのシステム・ハードウェア構成：Red Hat Enterprise Linux 9.4を実行する1つのLPARで6つのIFLs（SMT）を使用、128 GBメモリ、2つのCPを割り当てた1つのLPAR、4つのzIIPと256 GBメモリでIBM z/OS 3.1とIBM z/OS Containers Extensions（zCX）機能を実行。結果は異なることがあります。
2. [ITIC 2023 Global Server Hardware Server OS Reliability Report（グローバル・サーバー・ハードウェアおよびサーバーOS信頼性レポート）](#)、2023年8月/9月

© Copyright IBM Corporation 2025

2025年4月、アメリカ合衆国で製作

© Copyright IBM Corporation 2025. IBM、IBMのロゴ、IBM Spyre、IBM Telum、IBM Z、IBM z/OS、IBM z17は、米国およびその他の国または地域におけるIBMの商標または登録商標です。その他の製品名およびサービス名は、IBMまたは他社の商標である可能性があります。IBM商標の最新リストは、ibm.com/jp-ja/legal/copyright-trademarkでご覧いただけます。

登録商標「Linux」は、世界範囲における本商標の所有者であるLinus Torvalds氏の独占的ライセンス所有者であるLinux Foundationから提供されたサブライセンスに基づき使用されています。

Red Hat は、米国およびその他の国または地域における Red Hat, Inc. またはその子会社の商標または登録商標です。

本書は最初の発行日時点における最新情報を記載しており、IBMにより予告なしに変更される場合があります。IBMが事業を展開している国または地域であっても、特定の製品を利用できない場合があります。

本資料の情報は「現状のまま」で提供されるものとし、明示または暗示を問わず、商品性、特定目的への適合性、および非侵害の保証または条件を含むいかなる保証もしないものとします。

IBM製品は、IBM所定の契約書の条項に基づき保証されます。

示されている例は、説明のみを目的として提供されています。実際の結果はお客様の設定や条件により異なるため、一般的に期待される結果を提供するものではありません。

